

統合で販売拡大図る

クロノスパン

欧州木質ボードのクロノスパン・ルーマニアが1日に統合した。同社はMDF・PB・低メラのセベス工場とOSB工場の2社体制だったが、今回クロノスパントレーディング(オアナ・ボデア社長)として再編。本社は旧セベス工場に置き、統合により販売拡充を図っていく。日本向けも梱包用の生産を再開する。

OSB・MDF・PB・低メラを供給

統合により営業や管理部門を強化し、既存の51カ国にわたる販売先を拡大していく。さらに、これまでは一部にとどまっていた他社製品の扱いも拡充し、新たに日本製品も含めた販売戦略を検討し始めている。

現在、OSBは月間5万5000立方尺、MDFは月間4万5000立方尺、そしてPBと低メラを合わせて月間10万立方尺以上の生産を誇る。いずれも、JISやJASを含めた特殊品の生産に特化していく方針だ。

同社は、グループが全世界向けの輸出拠点としていた黒海に近い。黒海に置かれたグループの港湾会社とともに、ルーマニアの旧

日本向けではOSBの供給が目立っている。本格参入から7年を経て順調に供給量を伸ばしてきた。今では月間平均2000立方

2工場も輸出拠点として位置付けられてきた。両社は2011年12月にOSBでJAS、12年12月にPB素板でJIS、17年9月にMDF素板でJIS、18年10月にPB低メラでJISを取得。4品目すべてで日本向けの認証をそろえての統合となった。欧州でMDF、PB、低メラのJISを持つ唯一のメーカーだ。

たまた同社を含め欧州のOSBメーカーは、16年から長らく接着剤を中心とした資材不足とコスト高に悩まされてきた。同社も原木不足に陥ったが、18年春ごろから接着材高騰も含めて欧州市場全体でようやく一服。同社の

統合により営業や管理部門を強化し、既存の51カ国にわたる販売先を拡大していく。さらに、これまでは一部にとどまっていた他社製品の扱いも拡充し、新たに日本製品も含めた販売戦略を検討し始めている。

また今回の統合により、2年近く供給を止めていた日本向けの梱包用を再開する。欧州規格グレード2のノン

丸太在庫も、両工場とも回復した。この過程で他メーカーは日本向け製品販価を値上げし供給量を落としたが、同社は顧客を分散していたこともあって数量

JASだ。一方、MDFもJIS取得から1年を経た。ようやく軽量タイプで日本で流通する競合品と同等の物性を確立できたため、販売を増やしていく構えにある。

また低メラPBのJISは8・13タイプの、いずれも売れ筋の15、18ミ厚を含んでいる。正確には、12年にPB素板と同時に低メラもJISを取得していたが、グループ企業との日本向け競争を避けるため低メラはその後更改してこなかった。今回低メラに関して、すべてを試験し直して改めてJISを取得した。



発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2018
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



木材商社
株式会社 内山商會
本社 東京都世田谷区上北沢5-43-11
TEL(03)3302-9675(代)

集成材
SGEC
FSC SGEC/31-31-1007
FSC® C121389 「緑の環境」 お問い合わせ下さい
TSC 株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市瀬浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

主な記事	
▽3面	広島商況 外材
▽4面	東北版 東北大
▽5面	で新築需要増加
▽6面	中部森林管理局
▽7面	で様々な取組み
	鈴木木材・秋季